

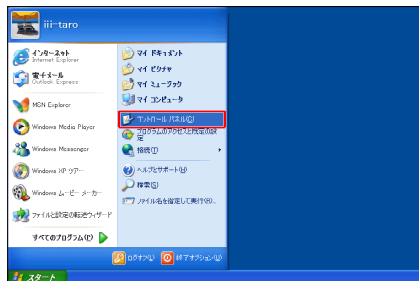


Windows XP

フレッツ・ADSL/Bフレッツ接続オプションをご利用の際は、「IIJ4Uホームページ>お客様情報>オプションの設定と解除」で該当オプションの設定をONにする必要があります。フレッツ 光ネクストをご利用の場合は、「Bフレッツ接続オプション ファミリー・マンションタイプ」をONにしてください。

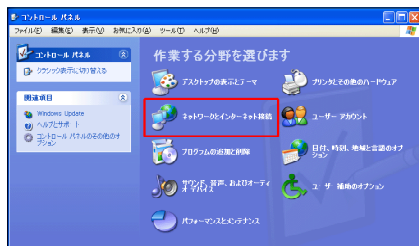
基本設定

STEP 1



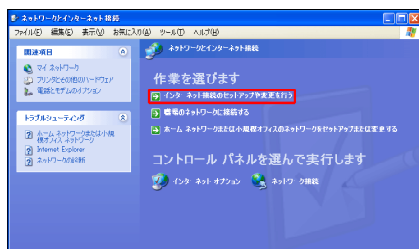
「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。

STEP 2



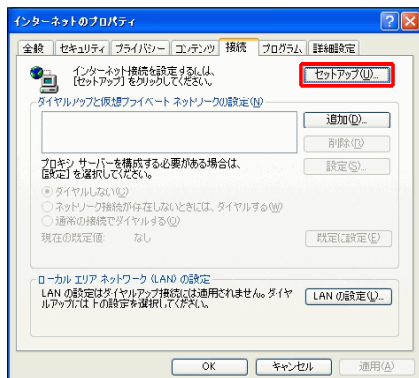
「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

STEP 3



「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリックします。

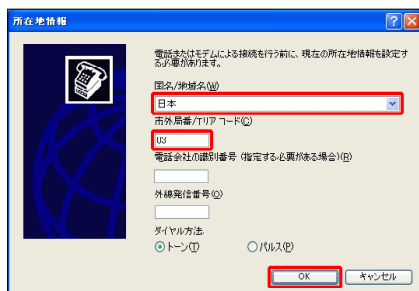
STEP 4



「セットアップ」をクリックします。

既にセットアップされている場合は表示されませんので、STEP7に進みます。

STEP 5



▼国名/地域名

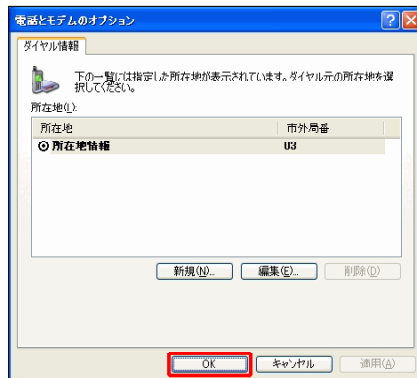
「日本」を選択

▼市外局番/エリアコード

お客様の市外局番を入力
(例: 03)

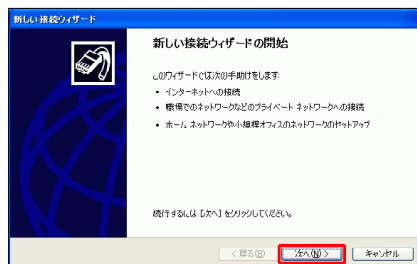
「OK」をクリックします。

STEP 6



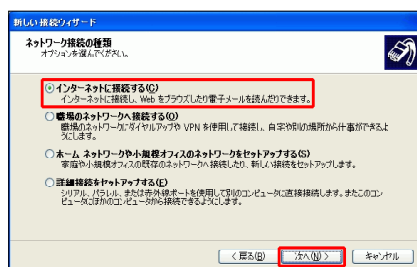
設定が正しいことを確認し、「OK」をクリックします。

STEP 7



「次へ」をクリックします。

STEP 8

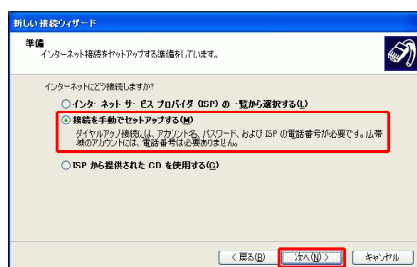


▼ネットワーク接続の種類

「インターネットに接続する」を選択

「次へ」をクリックします。

STEP 9

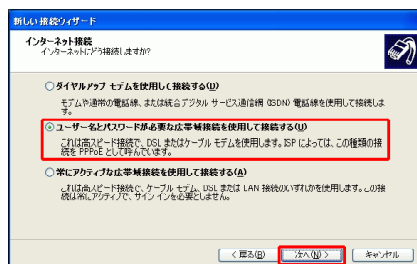


▼準備

「接続を手動でセットアップする」を選択

「次へ」をクリックします。

STEP 10



▼インターネット接続

「ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用し
て接続する」を選択

「次へ」をクリックします。

STEP 11

▼ISP名

任意の名前を入力
(例：IIJ)

「次へ」をクリックします。

STEP 12

▼ユーザー名

お客様のPPPログイン名に「@iiij.ad.jp」を追加したものを
を入力
(例：pfXXXXXXXXX@iiij.ad.jp)

▼パスワード

お客様のPPPパスワードを入力

▼パスワードの確認入力

お客様のPPPパスワードを入力

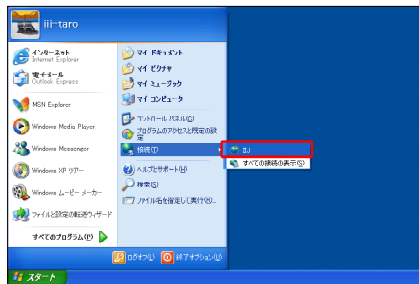
「次へ」をクリックします。

STEP 13

「完了」をクリックします。
以上で基本的な設定は終了です。

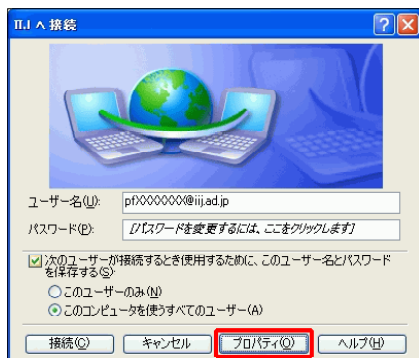
接続アイコン の設定

STEP 1



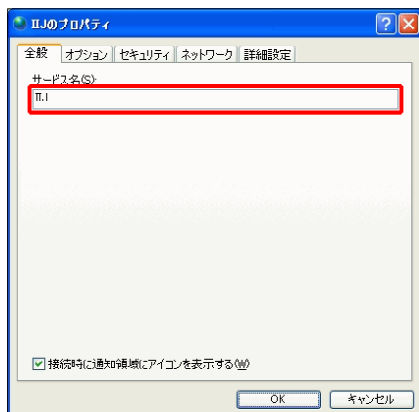
「スタート」メニューの「接続」から「生成された接続（例：IIJ）」を選択します。

STEP 2



「プロパティ」をクリックします。

STEP 3

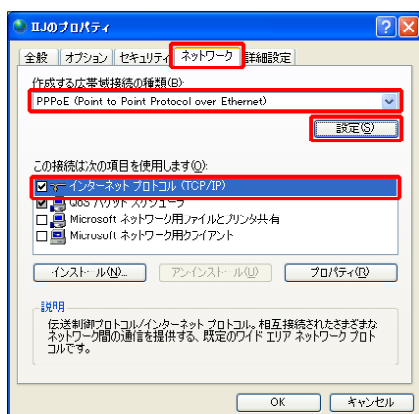


▼サービス名

任意の名前を入力
（例：IIJ）

「ネットワーク」タブをクリックします。

STEP 4



▼作成する広帯域接続の種類

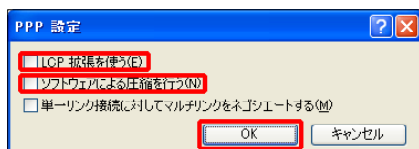
「PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet)」を選択

▼この接続は次の項目を使用します

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をチェック

「設定」をクリックします。

STEP 5



▼LCP拡張を使う

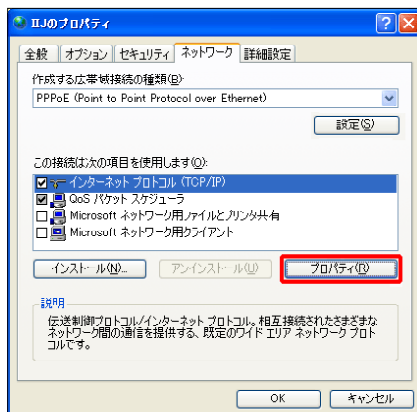
項目のチェックを外す

▼ソフトウェアによる圧縮を行う

項目のチェックを外す

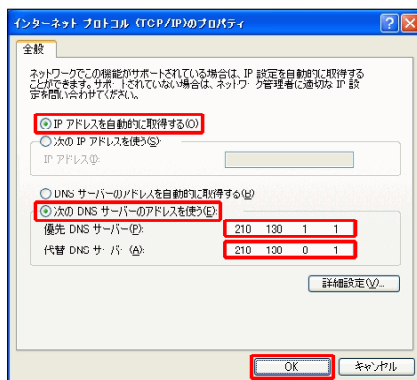
「OK」をクリックします。

STEP 6



「プロパティ」をクリックします。

STEP 7



▼IPアドレスを自動的に取得する

項目を選択

▼次のDNSサーバーのアドレスを使う

項目を選択

▼優先DNSサーバー

東日本エリア「210.130.1.1」、西日本エリア
「210.130.0.1」を入力

▼代替DNSサーバー

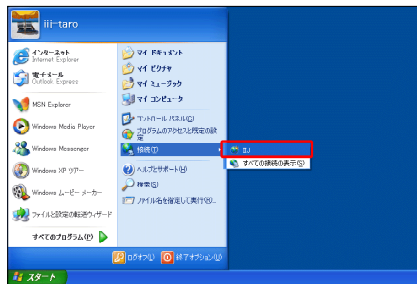
東日本エリア「210.130.0.1」、西日本エリア
「210.130.1.1」を入力

「OK」をクリックします。

「生成された接続（例：IIJ）のプロパティ」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

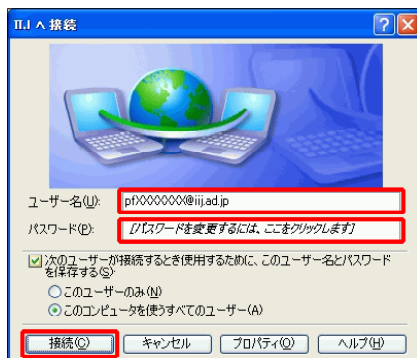
以上で基本的な設定は終了です。

STEP 1



「スタート」メニューの「接続」から「生成された接続（例：IIJ）」を選択します。

STEP 2



▼ユーザー名

お客様のPPPログイン名に「@iiij.ad.jp」を追加したものを
を入力

（例：pfXXXXXXXX@iiij.ad.jp）

▼パスワード

お客様のPPPパスワードを入力

「接続」をクリックします。

STEP 3



接続に成功すると、タスクトレイにインジケータが表示されます。

STEP 4

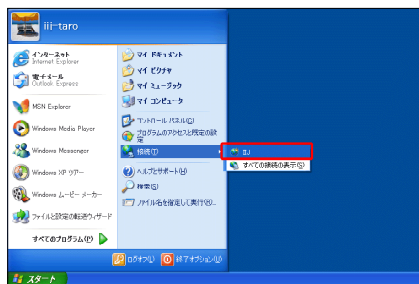


インジケータをクリックします。

接続を切る場合は、「切断」をクリックします。

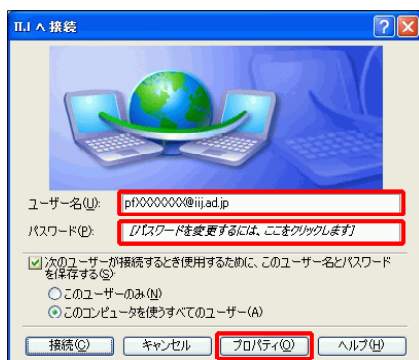
設定内容を変更する

STEP 1



「スタート」メニューの「接続」から「既に生成されている接続（例：IIJ）」を選択します。

STEP 2



▼ユーザー名

お客様のPPPログイン名に「@iiij.ad.jp」を追加したものを入力

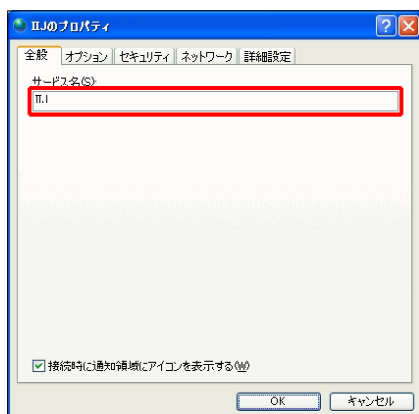
（例：pfXXXXXXXX@iiij.ad.jp）

▼パスワード

お客様のPPPパスワードを入力

「プロパティ」をクリックします。

STEP 3



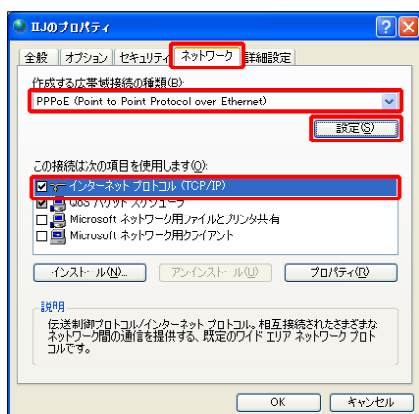
▼サービス名

任意の名前を入力

（例：IIJ）

「ネットワーク」タブをクリックします。

STEP 4



▼作成する広帯域接続の種類

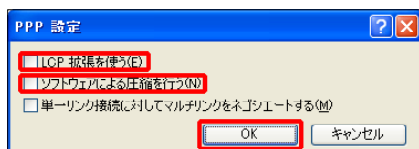
「PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet)」を選択

▼この接続は次の項目を使用します

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をチェック

「設定」をクリックします。

STEP 5



▼LCP拡張を使う

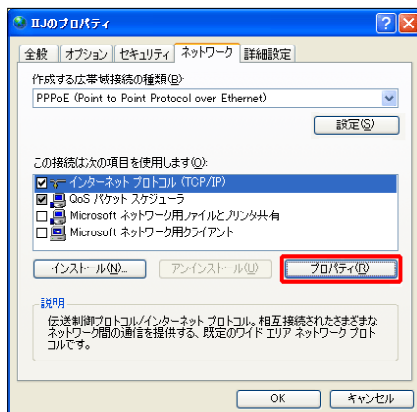
項目のチェックを外す

▼ソフトウェアによる圧縮を行う

項目のチェックを外す

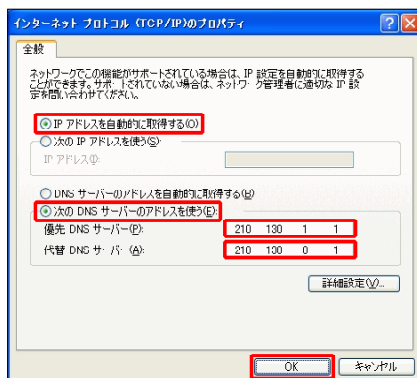
「OK」をクリックします。

STEP 6



「プロパティ」をクリックします。

STEP 7



▼IPアドレスを自動的に取得する

項目を選択

▼次のDNSサーバーのアドレスを使う

項目を選択

▼優先DNSサーバー

東日本エリア「210.130.1.1」、西日本エリア「210.130.0.1」を入力

▼代替DNSサーバー

東日本エリア「210.130.0.1」、西日本エリア「210.130.1.1」を入力

「OK」をクリックします。

「生成された接続（例：IIJ）のプロパティ」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

以上で基本的な設定は終了です。